

平成31年度生 前期 入学試験問題（国語）

試験時間
AM 9:20
↓
AM10:10
(50分)

（※答えはすべて解答用紙に記入すること。）

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

永年、人と人ととの関係に疲れ切ってしまった謙作にはこの生活はよかった。彼はよく阿弥陀堂という三、四町登った森の中にある堂へ行った。特別保護建造物だが、縁などは①クち腐れ、ひどく荒れはてていた。しかしそれがかえって彼には親しい感じをさせた。縁へ登る石段に腰かけていると、よく前を大きな蜻蛉が十間ほどの所を往ったり来たりした。両方に強く羽を張って地上三尺ばかりの高さを真っ直ぐに飛ぶ。そしてある所で向きを変えるとまた真っ直ぐに帰って来る。翡翠の大きな眼、黒と黄の段だら染め、細くひきしまった腰から尾への強い線——みんな美しい。殊にそのいかにもしつかりした動作が謙作にはよく思われた。彼は人間の小人——例えば水谷のような人間の動作とこれを較べ、どれだけこの小さな蜻蛉の方が上等か知れない気がした。二、三年前京都の博物館で見た鷹と金鶏鳥の双幅に心を惹かれたのも要するに同じ気持ちだったろうと、それを想い出した。

彼は石の上で二匹の蜥蜴が後足で立ち上がったたり、跳ねたり、からまり合ったり、②ケイカイな動作で遊び戯れているのを見、自らも快活な気分になった。

彼はまたここに来て鶺鴒が駆けて歩く小鳥で、決して跳んで歩かないのに気がついた。そういえば鳥は歩いたり、跳んだりすると思っただけ。

よく見ていると色々なものが総て面白かった。彼は阿弥陀堂の森で葉の真ん中に黒い小豆粒のような実を一つずつ載せている小さな灌木を見た。掌に大切そうにそれを一つ載せている様子が、彼はいかにも信心深く思われた。

人と人との下らぬ交渉で日々を、ロウヒして来たような自身の過去を顧み彼は、更に広い世界が展けたように感じた。彼は青空の下、高い所を悠々舞っている鶯の姿を仰ぎ、人間の考えた飛行機の醜さを思った。彼は三、四年前自身の仕事に対する執着から海上を、海中を、空中を、セイフクして行く人間の意志を讚美していたが、いつか、まるで反対な気持ちになっていった。人間が鳥のように飛び、魚のように水中を行くことは果たして自然の意志であるうか。こういう無制限な人間の欲望がやがて何かの意味で人間を不幸に導くのではなからうか。人智におもいがっている人間はいつかそのため酷い罰を被ることがあるのではなからうかと思っただけ。

かつてそういう人間の無制限な欲望を讚美した彼の気持ちはいつかは滅亡すべき運命を持ったこの地球から殉死させずに人類を救い出そうという無意識的な意志であると考えていた。当時の彼の眼には見るもの聞くもの総てがそういう無意識的な人間の意志の現れとしか感ぜられなかった。男という男、総てそのために焦っているとしたか思えなかった。そして第一に彼自身、その仕事に対する執着から苛立ち焦る自分の気持ちを、そう解するより他はなかったのである。しかるに今、彼はそれが全く変わっていた。仕事に対する執着も、そのため苛立つ気持ちもありながら、一方ついに人類が地球とともに滅びてしまうものならば、喜んでそれも甘受出来る気持ちになっていた。彼は仏教のことは何も知らなかったが、涅槃とか寂滅為楽とかいう境地には不思議な魅力が感ぜられた。

彼は信行に貰った臨済録など少しづつ読んでみたが、よく分からぬなりに、気分はよくなった。鳥取で求めて来た高僧伝は通俗な読み物ではあったが、恵心僧都が空也上人を「タズねての問答を読みながら彼は涙を流した。

「穢土を厭ひ浄土を欣ぶの心切なれば、などか往生トげざらん。」
簡単な言葉だが、彼は恵心僧都とともに手を合わせたいような気持ちがあった。

志賀直哉『暗夜行路』

問一 二重傍線部①～⑩のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

問二 波線部a「翡翠の大きな眼」で用いられている表現を何というか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 擬人法 イ 直喩 ウ 隠喩 エ オノマトペ

問三 波線部b「小人」e「甘受」の語句の意味を後からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

b 「小人」

ア 貧乏な人 イ 背の低い人 ウ 品性の卑しい人 エ 身分の低い人 オ 何の取り柄もない人

e 「甘受」

ア 甘やかすこと イ 受け入れること ウ 拒否すること エ 甘いものを好むこと オ 感情豊かなこと

問四 波線部c「まるで」d「しかるに」の本文中の意味と同じものを次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。
ア また イ きつと ウ まったく エ ところが オ それならば

問五 傍線部1「人と人ととの関係」とあるが、「人」を三つ重ねた表現には、どのような効果があるか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 世の中の単調な人間関係に嫌気がさしていることを強調する効果。
イ 世の中の複雑な人間関係の煩わしさを強調する効果。
ウ 世の中の人間と自然との対立の激しさを強調する効果。
エ 世の中の複雑な人間関係など気にしない、おおらかさを強調する効果。
オ 世の中の希薄な人間関係への寂しさを強調する効果。

問六 傍線部2「更に広い世界が展^びけたように感じた」とあるが、その気持ちが具体的に分かる一文を抜き出し、初めの五字を答えなさい。

問七 傍線部3「人間の考えた飛行機の醜さを思った」とあるが、それは何故か。理由を四十字以内で説明しなさい。

問八 傍線部4「そう解するより他はなかったのである。」とあるが、謙作は、自分の気持ちをどのような意志の現れと感じたのか。本文中より十八字で抜き出しなさい。

問九 主人公・謙作の心情の説明として適切なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 豊かな自然の中で快活な気分となり、仕事の焦りも全くない心持ちになった。
イ 森や河原で無心に遊んだが、そのことで現代人の罪深さを痛感し、悩みが深くなった。
ウ 小動物を虚心に観察し、自然の中に生きる喜びを感じ、心の平安を取り戻し始めた。
エ 仕事に執着し苛立った日々を顧みて、仏教の教えに不思議な魅力を感じている。

問十 志賀直哉について説明した次の文章の空欄(1)～(5)に入る語を後からそれぞれ選び記号で答えなさい。

志賀直哉は(1)派の代表作家である。足尾銅山鉱毒事件や結婚問題などで父親と衝突したが、その経緯は『大津順吉』(2)に小説化されている。また、療養先で小動物の生と死を見つめて描いた『(3)』は、作者が日常生活の中で見たものを描き、その中に自己の心境を暗示する(4)の傑作とされる。その他の作品に『網走まで』(5)などがある。

- ア 新思潮 イ 白樺 ウ 耽美 エ 通俗小説 オ 心境小説 カ 清兵衛と瓢箪
キ 和解 ク 城の崎にて ケ 父帰る

二 次の傍線部のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

- ① 要点をハアクする。 ② 現状をイジする。 ③ 成功のケイキとなる。 ④ 困難をコクフクする。
⑤ 問題点をシテキする。 ⑥ 実力をハツキする。 ⑦ 市井の人。 ⑧ うわさを吹聴して回る。
⑨ 素人離れた腕前だ。 ⑩ 言質を取られる。

三 次の熟語の読みを答え、その意味を後からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

語群

- ア 暗黙の了解。 イ 動きがとれないこと。 ウ なくてはならないこと。 エ 道理に合わないこと。
オ 相手を押さえつけ、自分の意見をおしつけること。 カ 何にもかえられない、本当の面白さ。
キ 今までに一度もないこと。

四 次の()に入る適当な言葉を後の語群よりそれぞれ選び、記号で答えなさい。

語群

- ア 延々 イ 刻々 ウ 散々 エ 淡々 オ 堂々 カ 並々 キ 久々
ク 方々 ケ 満々 コ 脈々

五 次の季語の季節を答えなさい。

- ① 糸瓜 ② 桐一葉 ③ 五月雨 ④ 風光る ⑤ 小春日

八女筑後看護専門学校・准看護科

平成 31 年度生 一般入学試験（前期）
（作文）

試験時間 13：00～13：50（50分）

テーマ：「 生命について 」

600～800 字以内で述べなさい。

准看護科社会人入学試験平成29年度生小論文・作文テーマ平成30・31年度生(過去3年分)

平成29年度生	『 これまでの社会人としての経験と、これからの私 』	600～800字以内で述べなさい。
平成30年度生	『 私がこれまでの人生で大切にしてきたこと 』	600～800字以内で述べなさい。
平成31年度生	『 あなたのイメージする看護とは 』	600～800字以内で述べなさい。

八女筑後看護専門学校 准看護科